

第5学年1組 図画工作授業案

授業者 藍原衣里子

場所 5の1教室

1 単元名 見つけて！ワイヤードリーム

2 単元の目標

- ・針金の特性を生かし、ペンチなどの用具を活用しながら、自分の表したい人の動きを効果的に表している。
(知識・技能)
- ・針金を曲げたりつないだりすることから発想し、作りたい形や仕組みを考えている。
(思考・判断・表現)
- ・針金に主体的に手を加えながら、つくることのたのしさを味わおうとしている。
(主体的に学習に取り組む態度)

3 単元設定の理由

本学年の児童は、男子8人、女子12人の合計20人で、夢中になって創作活動をする児童や、自分の思いを伸び伸びと表現したり、イメージをふくらませたりすることができる児童が多い。しかし、自分の表現に自信がもてない児童や、思いを表現するのに十分な技能が身につけていない児童もいる。年度初めの自己紹介カードに似顔絵を描く場面では、「描けない」とあきらめ、白紙で提出する児童がいた。そこで、6月に似顔絵を描く授業を行った。一つ一つのパーツや描き方をみんなでていねいに確認していくことで、どの子も自分なりの作品を仕上げることができるようになった。しかし、その後の人物画で全身を描く活動では、手足の接着部や、関節の動きがわかっていない児童がいることがわかった。

本題材は、自分が想像したことや、伝えたいことから、表したいことを見つけ、材料の特徴や構成の美しさなどを感じながら、自分なりの表し方を構想して表現していくものである。針金は児童が中心材料として扱うことが初めての物であり、その質感や加工しやすさなどからも、児童が興味をもつ材料と言える。針金を様々に変形させることを楽しみながら、これまでの経験や技法を総合的に生かし、自分の思いに合った表現をし、新しい技法を獲得していけると考えた。発想や構想が豊かになるこの時期に、手ごたえを感じながら作り出す喜びを味わうことができる題材であると言える。

本題材の学習は、アルミ針金を曲げたり、立たせ方を工夫したりしながら、自分が表したい人の動きを立体に表す内容である。まっすぐな針金の形を曲げたり巻いたりすることを試しながら、針金の特性を知り、立体として表したい形を見つけられるようにしたい。その際、人の動きの表し方の工夫について、自分や友達の表現を共有することから、形の変化や特徴、線材が集まることで生まれる美しさや面白さを感じるようにしていきたい。そして、「自分の将来の夢を表そう」という視点からイメージを膨らませ、立体にする活動を楽しんでできるようにしていきたい。この時、人の体の仕組みや動きに着目し、針金を骨、関節を粘土に置き換えながら、全員で考える時間を作ることで、基本的な人の動きを形作る方法に気付かせたい。また、本題材では、ペンチやラジオペンチで針金を切ったり曲げたりする。針金の先端の処理や、ペンチの正しい使い方など、安全面の指導と、使い終わった材料の処理などといった、環境に対する配慮についても気を付けていきたい。

4 単元構想（8時間完了）

針金を加工して、人形を作ろう ①②

- ペンチを使って、針金を加工する方法を知る。
 - ・ 切る、曲げる、折る、ねじる、巻くなど、針金を使っているいろんなことができるね。
- 針金と粘土を組み合わせて、人形を作る。
 - ・ 顔、胴体、うで、足の針金パーツを作ったよ。
 - ・ 針金をつなげたら、上手に人形が作れたよ。

針金で作った人形をいろいろな形に動かそう ③（本時3/8）

- 教師のとったポーズをよく見て、自分の人形を同じ形にする。
 - ・ 肘やひざの関節のところを曲げるといいね。
- ペアの友達のとったポーズをよく見て、自分の人形を同じ形にする。
 - ・ 友達がポーズをとっていてくれるから、どこが曲がっているかわかりやすいね。

針金で作った人形で、自分の将来の夢を表そう ④⑤⑥⑦

- 自分が将来どんな仕事に就き、何をしているかイメージして、その動きを針金の人形で表す。
 - ・ 動物園の飼育員になりたいから、動物のお世話をしているポーズを表してみよう。
 - ・ 中学校でサッカーをがんばりたいから、シュートをしているポーズを表したいな。
- 作った針金の人形に、紙粘土を巻き付け、絵具で色を塗る。
 - ・ 粘土を作ると、本物の人の形に近づいたよ。
 - ・ 友達の作品は服を着ていたから、わたしの作品にも服を着せてみよう。
 - ・ 動物やボールを作ると、みんなにどんな場面か伝わるんじゃないかな。

友達の表現の工夫や美しさ、面白さを見つけ、伝え合おう ⑧

- 自分の作品のタイトル、がんばったところ、工夫したところを発表する。
- 友達の作品のよいところや工夫しているところを見つけ、伝える。
 - ・ 友達の作品を見たら、本物そっくりに動きを表していて、今にも動き出しそうだった。

○支援 →留意点

- 1人2mm径のアルミ針金30cmを渡し、自由に針金に触れる時間を作ることで、様々な加工ができることに気づかせる。
- ペンチの使い方を教えることで、安全に加工・処理できるようにする。
- 針金は骨、粘土は関節であることを押さえ、人の体の仕組みにも気づかせるようにする。
- うまく動きを作れない児童には、教師がポーズを示しながら、どの関節がどの方向に曲がっているのかを一緒に確認する。
- 動きのある姿をイメージし、形作るように指示をする。
- まだ夢がはっきりしない児童は、6年生や中学校でがんばりたいことをイメージするようにする。
- 必要に応じて各自で針金を追加できるようにし、小道具作りにも使用できるようにする。
- 活動の途中で、見合う時間をとる。その時、自分の作品に取り入れたいところや、人形の動きの工夫を見つけるといった視点を明確にすることで、その後の作品作りに生かせるようにする。
- 色を塗るのに苦労している児童に、向きや角度を変えると塗りやすいことを、一緒に操作しながら教える。
- 人だけでなく、服装を考えたり、必要な小道具も作ったりすることで、作品の背景も表現するようにする。
- よいところが見つけれない児童には、前に見た時とどこが変わったかに着目させる声掛けをして、見つけられるようにする。

5 本時の学習 (3/8)

(1) 目標

- ・ 針金で表したい動きを考え、作ることを楽しむことができる。(主体的に学習に取り組む態度)
- ・ 針金を曲げて、人の動きを表すことができる。(知識・技能)

(2) 準備 針金、粘土、ペンチ

(3) 活動の流れ

○支援 →留意点 □評価

学 習 活 動	教師の支援と評価
<p>1 前時までの学習を振り返り、本時の学習課題を知る。</p>	<p>→針金を使って「切る」「曲げる」「巻く」などいろいろな活動ができることを思い出し、本時はその中の「曲げる」活動を中心に作品作りをすることを知らせる。</p>
<p>針金をどう動かしたら、いろいろな人の動きを作れるかな</p>	
<p>2 前時に作った人形の関節部分に、紙粘土を付ける。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 曲がるとことは、肘、膝と…足首、手首もあるね。 ・ 紙粘土を付けると、曲がる場所がわかりやすいね。 	<p>→人の体の骨にあたる部分が針金、関節にあたる部分が粘土であることを確認しながら紙粘土を付けることで、人の体の仕組みに目を向けさせ、どこが動くのかに気づくようさせる。</p> <p>○手先が不器用な児童Aのそばに行き、一緒に必要な粘土の大きさや付ける場所を確認しながら作るようにする。</p>
<p>3 自分の針金の形を、教師がとったポーズと同じ形に変える。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 肘のところが上に向かって曲がっているね。 	<p>→子どもたちの関心のあるポーズを教師がとることで、意欲的に活動できるようにする。</p> <p>→曲がっている関節の位置や向きを確認することで、人の動きを作るポイントへの意識が高まるようにする。</p>
<p>4 2人組で、ペアの子がとったポーズと同じ形になるように、自分の針金の形を変える。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ おもしろいポーズを考えてみよう。 ・ 友達がポーズをとっていてくれるから、どこが曲がっているかわかりやすいね。 	<p>→ペアでいろいろなポーズを作る活動を通して、楽しい雰囲気の中で、互いにアドバイスをし合えるようにする。</p> <p>○どのように変形させたらよいか困っている児童Bの側へいき、曲がっている関節や向きを一緒に確認しながら、手助けをする。</p>
<p>5 他の友達の作品を見ながら、よいところを見つける。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ Cさんの作品は、動きが大きくて迫力があっているな。 	<p>→いろいろな友達の商品を見ることで、自分の気づかなかった発想や針金の曲げ方に気づき、自分の作品に生かすことができるようにする。</p>
<p>6 自分のお気に入りのポーズに、針金の形を変える。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 友達の作品を見て、背中も曲げられることがわかったから、背中を曲げたポーズを作ってみよう。 	<p>→最後に自分のお気に入りのポーズに針金の形を変え、自分もそのポーズを取りながら、同じ形になっているか確認することで、本時の課題を達成できたか振り返りにつなげられるようにする。</p> <p>□針金で表したい動きを考え、人の動きを作ることができたか。(活動の様子)</p>